

# 令和4年度とちぎ健康福祉協会事業報告

自 令和 4年 4月 1日  
至 令和 5年 3月 31日

## I 概要

令和4年度は、とちぎ健康福祉協会基本計画（三期計画）に基づき、各事業の着実な実施に努めつつ、主に次の事項について取り組んだ。

令和3年度から運用を開始した人事管理制度については、人事考課者研修の継続実施など、制度の適切な運用及び定着を図るとともに、人材の確保については、求人サイトの活用、オンライン就職説明会の開催などに取り組んだ。さらに、適切な労働環境の整備に向け、労働時間の管理状況を確認するとともに、新たな勤怠管理システムの令和5年度からの導入に向けての検討を開始したが、支援職の人員充足や、時間外労働の縮減等、昨年度からの課題の解決には至らなかった。

4年目を迎えた新型コロナウイルス感染症への対応については、基本的な感染防止対策を実施してきところ、障害者支援施設において数件のクラスターが発生し、事業運営に影響を受けたが、他所属を含めた応援体制の構築により、速やかな収束に努め、利用者に対するサービスの提供を概ね継続することができた。

また、とちぎ健康づくりセンター、とちぎ生きがいくくりセンターの運営については、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に取り組みながら、広報の強化やシルバー大学校の学生へのアンケートなどにより、サービスの質の向上に努めるとともに、令和6年度からの次期指定管理申請に向けての検討を開始した。

なお、現基本計画（三期計画）については、協会を取り巻く課題を踏まえ、職員の共通認識を醸成するため、期間を令和5年度までとし、令和6年度からの5年間を計画期間とする次期基本計画（四期計画）を策定することとした。

このように、令和4年度は、今後も対応を要する事項を一部残したものの、新型コロナウイルス感染防止対策に努めながら、法人として取り組むこととした事業については概ね実施することができた。

## II 総務福祉部所管事業

### 1 総務課

#### (1) 事業執行概要

法人本部としての総合的な企画調整及び経営管理の充実を図るため、各施設等と連携しながら、とちぎ健康福祉協会基本計画（三期計画）に基づいて各種事業を実施した。

また、事業の円滑な推進を図るため、各所属の所属長に次ぐ職位にある者等で構成する「施設等連絡調整会議」を新たに設置し、各種事務について連絡、調整を図った。

令和3年度から運用を開始した人事管理制度については、評価研修や面談研修を実施し、適切な運用及び制度の定着化に努めた。なお、社会福祉施設において新型コロナウイルス感染症のクラスターが複数回発生した影響により、考課者のフィードバック研修は実施できなかった。

人材の確保については、オンライン就職説明会の開催や職員採用試験を複数回実施するなどし確保に努めたが、社会福祉施設の支援職については必要とする人員を確保することができなかった。

事業継続計画(BCP)の策定については、「施設等連絡調整会議」を活用し、感染症版の策定に着手した。

次期基本計画（四期計画）の策定については、基本計画(三期計画)の検証結果を踏まえ、令和5年度に幅広く意見を取り入れながら策定することとし、令和6年度から令和10年度までの5か年における計画を策定することとした。

労務管理については、課長・施設長等会議を通し、労働時間の適切な管理についての認識を共有した。

障がい者支援センターふれあいの建替整備については、建替整備計画に基づき、さくら市内に適地を選定した。

障害福祉サービス事業所において複数回発生した新型コロナウイルス感染症のクラスターに対応した職員に対し、諸規程を整備の上、慰労金を支給した。

#### (2) 事業実績

##### ア 職員研修の実施

開催年月日	内容
令和4年4月19日～20日	令和4年度新規採用職員研修（前期）
令和4年8月19日	人事考課者研修（評価研修）
令和4年9月16日	人事考課者研修（面談研修）
令和4年9月30日	第1回事務担当者研修会
令和4年10月26日	第2回事務担当者研修会
令和4年12月8日 令和5年2月9日	令和4年度新規採用職員研修（後期）
令和5年3月23日	第3回事務担当者研修会

イ 職員採用の実績

(ア) 令和4年8月1日採用

職種	試験方法	実施時期	採用人数
支援職	競争試験	令和4年5月	1名

(イ) 令和4年9月1日採用

職種	試験方法	実施時期	採用人数
資格職〔管理栄養士〕	競争試験	令和4年7月	1名

(ウ) 令和5年4月1日採用

○ 新規採用

職種		試験方法	実施時期	採用人数
支援職 事務職 保育職	第1回	競争試験	令和4年7月	支援職 1名、事務職 1名
	第2回	競争試験	令和5年1月	支援職 1名、保育職 3名
	第3回	競争試験	令和5年2月	支援職 1名、事務職 3名
資格職〔理学療法士 作業療法士〕		競争試験	令和5年1月	2名
資格職〔管理栄養士〕		競争試験	令和5年3月	1名
合計				13名

○ 嘱託職員から正職員への登用

職種	実施時期	採用人数
保育職	令和5年1月	1名

(エ) 人材の確保の取り組み

○ 無料求人サイトの活用

ハローワーク、福祉人材センターの他、Indeed、Airワーク、シゴトサガス等

○ 有料広告の活用

宇都宮市二荒山神社前バンパビジョンで求人広告放映、タウンワーク求人誌掲載

○ 職能団体ホームページへの掲載

栃木県栄養士会、栃木県理学療法士会、栃木県作業療法士会

- 県広報の活用  
「県民だより」及び県 HP への掲載
- スカウト求人サイトの活用  
医療福祉の求人サイト「ジョブメドレー」のスカウト活用
- 就職説明会への参加  
とちぎ再就職フェア、福祉のお仕事就職フェア、栃木県再就職合同説明会
- WEB 就職説明会の実施  
オンラインを活用した説明会実施
- その他  
インスタグラムの掲載、施設見学会・内定式の実施

ウ 評議員会の開催

回数	開催年月日	内容
第 72 回	令和 4 年 4 月 1 日	役員の選任について
第 73 回	令和 4 年 6 月 27 日	令和 3 年度とちぎ健康福祉協会決算について 他
第 74 回	令和 5 年 3 月 28 日	令和 5 年度とちぎ健康福祉協会事業計画について 他

エ 理事会の開催

回数	開催年月日	内容
第 104 回	令和 4 年 4 月 1 日	常務理事の選定について
第 105 回	令和 4 年 6 月 10 日	令和 3 年度とちぎ健康福祉協会事業報告について 他
第 106 回	令和 4 年 12 月 20 日	令和 4 年度とちぎ健康福祉協会資金収支補正予算について 他
第 107 回	令和 5 年 3 月 17 日	令和 5 年度とちぎ健康福祉協会事業計画について 他

オ 評議員選任・解任委員会の開催

開催年月日	内容
令和 5 年 3 月 28 日	評議員の選任について

カ 監事監査の実施

開催年月日	内容
令和 4 年 5 月 26 日	令和 3 年度事業執行及び決算

キ 課長施設長等会議の開催

回数	開催年月日	内容
第1回	令和4年4月25日	令和4年度事業計画について 他
第2回	令和4年9月22日	とちぎ健康福祉協会基本計画について 他
第3回	令和4年10月25日	労働時間の適切な管理について
第4回	令和5年2月27日	講話「ストレスチェック集団分析の見方と活用方法」 とちぎ健康福祉協会基本計画（三期計画）の検証結果について 他

ク 施設等連絡調整会議の開催

回数	開催年月日	内容
第1回	令和4年10月5日	事業継続計画（BCP）について 他
第2回	令和4年10月27日	事業継続計画（BCP）について とちぎ健康福祉協会基本計画について 他
第3回	令和5年1月19日	事業継続計画（BCP）について とちぎ健康福祉協会基本計画について HPのリニューアルについて 他
第4回	令和5年2月14日	事業継続計画（BCP）について とちぎ健康福祉協会基本計画について 事業の進捗状況について 他

※令和4年11月及び12月は、社会福祉施設における新型コロナウイルス感染症のクラスター対応等  
のため開催中止

## 2 わかくさ

### (1) 事業執行概要

母子のDV被害からの退避や回復、親子関係の再構築や社会的な自立の促進及び子どもの貧困対策の推進などの取り組みを強化しながら、母子が健全な社会生活を営めるよう支援した。その結果、2世帯について自立した社会生活に向けた退所に繋ぐことができた。

一般社団法人栃木県助産師会が県の委託を受けて運営している、予期しない妊娠等に関する相談窓口「にんしん SOS とちぎ」の連携会議の構成メンバーに令和4年度より加入した。「にんしん SOS とちぎ」の連携会議に参加したことで、医療機関との連携が強化され、特定妊婦を取り巻く環境や実態について理解を深めることができた。また、母子生活支援施設の活動内容について、構成メンバーに広めることができた。

平成24年の移設から10年が経ち、中庭の遊具の色落ちやさびが目立っていたが、栃木塗装青年会のご厚意によりペンキの塗り替えを行っていただいた。塗り替え後、子どもたちの遊具利用も増加した。

新型コロナウイルス感染対策については、消毒や換気の励行、毎日の検温の実施等、感染予防に取り組んできたが、2世帯（別時期）に感染が確認された。感染者の発生に伴い、全世帯を対象とした定期的な抗原検査キットによるスクリーニング検査の実施等、より徹底した感染対策を講じながら利用者への支援を実施したことで、所内における感染拡大を防止することができた。新型コロナウイルス感染症の発生及び感染防止に伴い、外出や行事が予定通り実施できなかった。

#### 【新型コロナウイルス感染症の発生状況等】

- 令和4年7月11日(月) 1世帯 次男感染、その後同居母親が感染  
感染した世帯は、次男と母親は空き部屋を利用し、10日間の別室待機
- 令和4年12月27日(火) 1世帯 長男感染、その後同居母親、姉妹全員が感染  
感染した世帯は、感染後7日間の自宅待機

#### (主な実施事業)

##### ① 質の高いサービスの提供

- 母子支援員及び個別対応職員による母子の良好な関係構築
- 心理療法担当職員による母子の心のケアを実施
- 母親のニーズに応じた施設内保育の実施
- 母親の就労に向けた資格取得支援、民間事業者と連携した就労支援の実施
- 子どもの健全な育成を目指した学習支援や体験活動の実施
- 貧困連鎖防止を図るための母親教養講座や季節の行事の実施
- 常直体制による夜間の安全確保
- 関係機関との緊密な連携による利用者の保護や自立支援の実施
- 災害時における利用者の安全を確保するための備品の整備
- 検温や手指消毒、換気の実施等新型コロナウイルス感染症対策の徹底及び衛生物品や備品の購入による環境の整備
- 新型コロナウイルス感染者の施設内隔離に必要な生活必需品などの購入支援

② 自主自立経営の確立

- 加算算定要件となる研修の受講による運営費の増収
- 記録管理システムの活用による事務の効率化

③ 地域社会への貢献

- 委託事業の一時保護事業、独自事業の緊急一時利用の受入

(2) 事業実績

ア 母子生活支援施設 定員 20 世帯

年度別 区分	令和 3 年度			令和 4 年度		
	年間延利用者数 (月単位)	月平均	稼働率 (%)	年間延利用者数 (月単位)	月平均	稼働率 (%)
世帯数 (世帯)	227	18.9	94.5	165	13.8	68.7
家族人数 (人)	596	49.7		450	37.5	
母親 (人)	227	18.9		165	13.8	
児童 (人)	369	30.8		285	23.8	

イ 年度末の入所利用者の状況 (令和 5 年 3 月 31 日現在)

(ア) 母親の状況 (人)

区 分	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代以上	合 計
母親		2	4	7	1	14

(イ) 世帯当たりの人数 (世帯)

区 分	2 人	3 人	4 人	5 人以上	合 計
世帯数	8	4	1	1	14

(ウ) 児童の状況 (人)

区 分	未就学児	小学生	中学生	高校生以上	合 計
児童	5	15	4		24

ウ 一時保護受託事業

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度
年間延利用日数 (日)	27	53
実世帯数 (世帯)	1	1

エ 緊急一時利用事業

令和 3 年度、令和 4 年度：対象者なし。

## オ 実施行事

時期	内 容		
4月	○入学祝		
5月	○端午の節句	○母の日イベント	
6月			
7月	○母親教養講座（第1回）	○七夕	
8月	○夏休み体験学習(出前体験)	○花火大会	○ラジオ体操
9月	○わかくさ秋祭り		
10月			
11月	○七五三のお祝い		
12月	○母親教養講座（第2回） ○正月準備	○クリスマス	
1月	○書初め大会		
2月	○節分		
3月	○ひなまつり	○幼児ゲーム体験	
定例	○書道教室（月2回） ○お絵かきクラブ（月1回） ○母親常会（偶数月） ○日本語教室（月2回） ○学生施設実習（随時）	○英語教室（月2回） ○セカンドステップ（月1回） ○子ども常会（随時） ○蒲公英発行（月1回）	○学習支援（随時） ○保育サロン（月1回） ○施設内保育（随時） ○誕生祝（随時）

## カ 関係機関との連携

- (ア) 福祉事務所との連絡会議（新型コロナウイルス感染症対策のため、個別のオンライン対応）
- (イ) 保育園との連絡会議（宝木保育園：新型コロナウイルス感染症対策のため、個別の面談対応）
- (ウ) 小学校との連絡会議（晃宝小学校：新型コロナウイルス感染症対策のため、個別の面談対応）
- (エ) 中学校との連絡会議（国本中学校：新型コロナウイルス感染症対策のため、個別の面談対応）

### 3 桜ふれあいの郷

#### (1) 事業執行概要

利用者の権利擁護に努め、自己選択や自己決定の意思及び人格を尊重するとともに、個々の能力に応じた自立と社会活動への参加を促進するよう、サービスの提供に努めた。

まず、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を徹底しながらのサービス提供に努めたが、桜ふれあいの郷において5件、グループホームにおいて1件の陽性者の発生があり、完全な予防には至らなかった。特に、桜ふれあいの郷では4月～5月に就労支援グループ及び自立支援グループで、11月～12月に介護支援グループ及び療養支援グループでクラスターが発生し、長期にわたり通常の施設運営ができなくなるなど事業運営に多大な支障が生じた。

このクラスターの発生に際して、感染症認定看護師の専門的指導を受け、支援従事者の個人防護具着用及び施設内ゾーニングの徹底、定期的なスクリーニング検査等を実施し速やかな感染症の収束に努めたとともに、支援従事者及びその他の利用者の安全安心に配慮した上で、施設内療養者に対して必要なサービスの提供を継続できた。

一方、令和3年度に過年度の虐待事案が確認され施設として虐待の未然防止に努めつつある中、6月に利用者に対する新たな虐待が確認された。このため速やかな原因究明に取り組み、虐待の未然防止及び利用者の権利擁護に基づき全職員対象に研修を行ったほか、施設及び法人としての各対応を構築した。

同時に、利用者支援の向上及び職員にとってやりがいを感じられる職場を目指すため、桜ふれあいの郷の再出発に向けて対応事務局を立ち上げ検討を重ねてきたところ、今般、「桜ふれあいの郷再出発計画」の策定に至り、令和5年度から実施することとした。

障がい者支援センターふれあいにおいては、共同生活援助事業における地域生活支援の他、就業・生活支援や相談支援の各事業において地域で生活する障害児者やその家族等への支援拠点としての役割を担っている。事業実施においては関係者や関係機関、企業、その他の地域資源等とのフォーマル・インフォーマルを問わない「顔の見える関係づくり」を積極的に行い、支援の質的向上や地域において期待される役割の発揮に努めた。

また、予てより懸案であった障がい者支援センターふれあいの建替整備については、今後の事業展開を踏まえた整備計画を立案し、整備条件に合った移転候補地の検討を行った結果、適地選定に至った。

なお、重点的に取り組んだ事項は以下のとおりである。

令和3年度から新施設での事業運営が開始となったが、令和4年度においても、住環境の大きな変化により、利用者が体調を崩されたり、暮らしづらさを感じられたりといった影響が引き続き確認されたことから、早期適応に向けた支援に努めた。不慣れな環境に不安定となり、対応に苦慮するケースもあったものの、ケース検討を通じた支援方法の工夫や、必要に応じた設備の修繕や改良により対応した。

新施設への移行に伴い、大幅な組織改編も実施されたことから、新たな支援体制におけるよりよいサービス提供体制の構築にも引き続き取り組んだ。各支援グループとも欠員が多く、また、男女比の不均衡や夜勤可能職員の確保の困難等により、必ずしも十全の支援体制とはならなかったが、サービスの維持・向上に努めた。

#### 【新型コロナウイルス感染症の発生状況等】

- 桜ふれあいの郷就労支援グループ利用者3名・職員2名感染  
令和4年4月6日（水）発生～4月26日（火）解除  
通所中止：4月7日（木）～4月19日（火）
- 桜ふれあいの郷自立支援グループ利用者9名・職員7名感染  
令和4年4月16日（土）発生～5月10日（火）解除  
日中一時支援中止：4月19日（火）～4月30日（土）
- 桜ふれあいの郷就労支援グループ利用者1名・職員4名感染  
グループホーム利用者2名感染  
令和4年8月17日（水）発生～9月9日（金）解除  
通所中止：8月18日（木）～8月23日（火）
- 桜ふれあいの郷介護支援グループ利用者50名・職員14名感染  
令和4年11月14日（月）発生～12月26日（月）解除
- 桜ふれあいの郷療養支援グループ利用者32名・職員17名感染  
令和4年12月1日（木）発生～12月15日（木）解除  
日中一時支援中止：12月5日（月）～12月20日（火）
- 陽性者の発生時に際しては、支援従事者への个人防护具や衛生用品の支給、PCR検査や抗原検査によるスクリーニング検査等を実施し、感染拡大の抑止に努めた。また、通所が中止となった利用者への在宅支援の提供、支出経費に係る関連補助金の活用等により、陽性者の発生時においても、事業運営の維持継続に努めた。

## (主な実施事業)

### ① 質の高いサービスの提供

#### ア 利用者本位のサービスの提供

- 虐待防止委員会及び虐待防止対策部会（専門の下部組織）の定期開催、同組織を中心とした虐待防止の徹底
- 職員倫理綱領、職員行動指針の遵守の徹底
- 適切なモニタリング等の実施による利用者の意思確認、支援内容への反映
- 苦情解決第三者委員の虐待防止委員会への参加、意見の聴取

#### イ 安全で快適な利用環境の確保

- インシデント・アクシデントの早期発見、原因分析の実施によるリスクマネジメントの徹底
- 新型コロナウイルス感染症に係る基本的な感染予防対策の徹底、衛生用品等の整備、陽性者発生を想定した支援体制及びゾーニング計画の検討等
- 老朽化した送迎車両の更新（軽ワゴン 1 台）

#### ウ 人材の確保及び職員の資質向上

- サービス管理責任者等の養成研修、利用者の重度化・高齢化に対応した支援・医療ケア技術の習得研修等への職員の派遣

#### エ 情報公開の推進

- 利用者家族等への支援状況の報告や新型コロナウイルス感染症陽性者発生時の速やかな情報提供
- ホームページ上での年間行事実施状況の公開
- かじかさわ通信の発行（年 1 回）

### ② 自主自立経営の確立

- 省エネ、経費節減に配慮した施設設備の調整
- 適切な利用調整の実施

### ③ 地域社会への貢献

#### ア 福祉人材・支援技術の活用

- 特別支援学校の産業現場実習受入

#### イ 施設の特性を活かした地域貢献活動

- 栃木県障害施設・事業協会のセーフティネット拠点事業の継続実施
- いちごハートねっと事業への参加（継続）
- さくら市との「福祉避難所の設置運営に関する協定」及び「福祉避難所への災害福祉支援員の派遣に関する協定」の更新
- 栃木県災害福祉支援チーム（DWAT）への登録

(2) 事業実績

ア 児童施設

(ア) 障害児入所施設（定員 15名）

年度別 区分	令和3年度				令和4年度			
	年間延べ利 用者数(人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)	年間延べ利 用者数(人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)
延利用者数	5,165	365	14.2	94.7	4,698	365	12.9	85.8
内、措置人数	4,319	365	11.8		4,086	365	11.2	
内、契約人数	846	365	2.3		612	365	1.7	

(イ) 障害者支援施設（併設）（定員 生活介護 15名 施設入所支援 15名）

年度別 区分	令和3年度				令和4年度			
	年間延べ利 用者数(人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)	年間延べ利 用者数(人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)
生活介護	3,679	261	14.1	94.0	3,654	261	14.0	93.3
施設入所支援	5,145	365	14.1	94.0	5,475	365	15.0	100.0

イ 生活支援施設

障害者支援施設（定員 生活介護 135名 施設入所支援 130名）

年度別 区分	令和3年度				令和4年度			
	年間延べ利 用者数(人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)	年間延べ利 用者数(人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)
生活介護	31,489	261	120.7	89.4	30,846	261	118.2	87.5
施設入所支援	43,828	365	120.1	92.4	43,250	365	118.5	91.1

ウ 就労支援施設

障害者支援施設（定員 生活介護 40 名 就労継続支援 B 型 40 名 施設入所支援 40 名）

区分	令和 3 年度				令和 4 年度			
	年間延べ利 用者数(人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)	年間延べ利 用者数(人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)
生活介護	8,169	261	31.3	78.2	8,012	261	30.7	76.7
就労継続 B 型	9,020	261	34.6	86.4	9,565	261	36.6	91.6
施設入所支援	14,095	365	38.7	96.5	13,783	365	37.8	94.4

エ 障がい者支援センターふれあい

共同生活援助事業所（定員 54 名）

区分	令和 3 年度				令和 4 年度			
	年間延べ利 用者数(人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)	年間延べ利 用者数(人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)
共同生活援助	18,599	365	51.0	94.4	19,477	365	53.3	98.8

オ 年度末の入所利用者の状況（令和 5 年 3 月 31 日現在）

（人）

施設等別	児童施設 (障害児入所施設)	児童施設 (併設) (障害者支援施設)	生活支援施設	就労支援施設	障がい者支援 センターふれあい
10 歳未満	2				
10 代	11	1	1		1
20 代		5	4	1	8
30 代		5	11	3	5
40 代		4	25	13	9
50 代			26	12	7
60 代以上			55	8	24
合計	13	15	122	37	54
平均年齢 (歳)	14.3	32.3	57.0	51.7	52.8
平均障害支援区分	—	5.33	5.59	4.38	3.5

カ 短期入所（定員 児童施設 1 名 生活支援施設 3 名 就労支援施設 1 名） (人)

区分 \ 年度別	令和 3 年度			令和 4 年度		
	児童	生活	就労	児童	生活	就労
年間延利用者数	64	465	6	12	396	
実利用人数	5	6	1	3	6	

キ 日中一時支援事業（定員 15 名） (人)

区分	令和 3 年度	令和 4 年度
年間延利用者数	1,488	1,403
実利用人数	16	10

ク 一時保護受託事業 (人)

区分 \ 年度別	令和 3 年度	令和 4 年度
年間延利用者数	23	150
実利用人数	2	2

ケ 障がい者支援センターふれあい実施事業

事業名	区分	令和 3 年度	令和 4 年度	備考
職場適応援助者（ジョブコーチ）支援事業	利用者支援（件）	16	13	訪問型職場適応援助者 1 名
	ケース会議等（件）	3	3	
障害者就業・生活支援センター	相談支援件数（件）	2,297	1,870	就業支援担当者 3 名（専従 3） 生活支援担当者 2 名 （専従 1、兼務 1）
	職場実習件数（件）	23	28	
	就職件数（件）	37	36	
	相談・支援を行った事業所数（か所）	158	161	
	事業主相談・支援件数（件）	1,368	1,216	

事業名	区分	令和3年度	令和4年度	備考
相談支援事業	計画相談支援（件）	840	939	サービス利用支援 200件 継続サービス利用支援 739件
	障害児相談支援（件）	58	80	サービス利用支援 37件 継続サービス利用支援 43件
	地域相談支援（件）	6	8	
	障害者相談支援事業（件）	934	1,093	さくら市受託事業
	障害支援区分認定調査業務（件）	40	25	さくら市受託事業
福祉サロン	年間延利用者数（人）			新型コロナウイルス感染症対策のため閉鎖

コ 就労支援事業

(ア) 作業内容

種別	内容
受託加工	Tシャツやポロシャツ、エコバッグ等へのプリント加工、自動車部品のバリ取り、餃子の箱組み立て、ラテックス手袋たたみ、パンフレット差込み、シール貼り、餃子のタレ袋詰め、ポリポットシール貼り
除草作業	敷地内緑地等の除草作業（4箇所）
焼き菓子・パン製造 販売	焼き菓子：所内外及びクリスマス等季節のイベントギフトの製造販売、無人販売 パン：イベント等での出張販売、施設内給食への販売、所内外への注文販売、無人販売
クリーニング	施設内利用者の衣服のクリーニング
リサイクル	アルミ缶等の回収・リサイクル

(イ) 利用者工賃（1人当たり平均工賃月額）

（円）

項目	令和3年度	令和4年度
1人当たり平均工賃月額	16,988.3	13,763.2
目標工賃月額	12,900	13,000

サ 実施行事

時期	児童施設	生活支援施設	就労支援施設	障がい者支援センター ふれあい
4月	○南那須特別支援学校 入学式		○食事会	○花見
5月	○外出	○食事会	○食事会	○フライングディスク 大会 ○外出
6月	○食事会 ○外出	○食事会	○食事会	
7月	○外出	○外出	○食事会	
8月	○食事会 ○外出 ○学童夏まつり	○外出	○食事会	
9月	○外出	○食事会	○外出	
10月	○郷まつり代替行事 ○外出	○食事会 ○外出	○郷まつり代替行事 ○外出	○花火大会 ○障がい者支援センター ふれあい交流会
11月	○こぶし祭 ○外出	○食事会 ○外出	○外出	○ふれあいミュージカ ルショー
12月	○クリスマス会 ○外出	○クリスマス会 ○食事会	○外出 ○クリスマス会	○日産チャリティー ○クリスマス会 ○障害者スポーツ大会
1月	○食事会 ○外出	○食事会	○食事会	○初詣
2月	○外出	○食事会		
3月	○南那須特別支援学校 卒業式 ○食事会		○食事会	○なかよし会総会

## 4 清風園

### (1) 事業執行概要

利用者の権利を擁護し自己選択や自己決定を尊重しながら、自立と社会参加を支援することで、利用者の自己実現が図られるよう、提供するサービスの充実を図った。

職員、利用者双方にとっての負担軽減や介護の質の向上を図るために推進している「ノーリフティングケア」については、介護リフトや電動ベッドなど設備の導入と併せ、ケース検討により事例を積み重ねることでケアの浸透、拡大を図るべく取組みを行ってきた。従来のやり方からの転換が十分に図れず、統一した支援までには至っていないものの、「ノーリフティングケア」の持つ本来の趣旨についての理解は浸透しつつあるので、職員の共通理解を図りながら、取組みを継続していくこととした。

また、コロナ禍にあっても実現可能な活動を模索し、四季折々の行事の他、ドライブスルー外出やキッチンカーの招致を企画・実現する等、利用者の日常生活を充実させる支援の提供に取り組んだ。

新型コロナウイルス感染対策については、感染予防対策を徹底しながらのサービス提供となったが、生活支援施設、就労支援施設においてそれぞれ1件ずつクラスターが発生した。生活支援施設においては、入所利用者の9割、職員は半数以上、就労支援施設においては利用者の5割、職員5名が感染する大規模なものであり、1か月を超える通所サービス等の休止を余儀なくされた。そのような中、適切な个人防护具の着用や施設内ゾーニングについて栃木県の指導を受けるとともに、支援体制の工夫や他の係からの応援により、利用者の安全安心に配慮した上で、施設内療養者に対して必要なサービスの提供を継続することができた。

#### 【新型コロナウイルス感染症の発生状況等】

- 令和4年8月18日（木） 就労支援施設通所利用者1名感染  
通所・短期入所・日中一時支援中止：8月18日（木）～8月22日（月）
- 令和4年11月28日（月）～12月15日（木）生活支援施設入所利用者40名・職員18名感染  
通所・短期入所・日中一時支援中止：11月28日（月）～翌年1月8日（日）
- 令和5年1月17日（火）～2月4日（土）就労支援施設入所利用者20名・職員5名感染  
通所・短期入所・日中一時支援中止：1月17日（火）～2月19日（日）

#### (主な実施事業)

##### ① 質の高いサービスの提供

##### ア 利用者本位のサービスの提供

- 権利擁護委員会や虐待防止委員会の開催、同組織や苦情解決第三者委員会を活用した利用者本位のサービスの提供

- 職員倫理綱領、職員行動指針の遵守の徹底
- 適切なモニタリング等の実施による利用者の意思確認、支援内容への反映
- イ 安全で快適な利用環境の確保
  - 権利擁護、虐待防止及び意思決定支援に関する研修の受講
  - リスクマネジメント委員会におけるアクシデント事例の検証及び分析
- ウ 人材の確保及び職員の資質の向上
  - 施設の専門職と外部講師（言語聴覚士）の連携による誤嚥防止のための嚥下評価、研修の実施
- エ 情報公開の推進
  - 定期的なホームページの更新、SNSによる情報発信
- ② 自主自立経営の確立
  - ア 健康経営の推進
    - 事務職員の資質向上を目的とした会計に関する研修の受講
- ③ 地域社会への貢献
  - いちごハートねっと事業への継続参加
  - さくら市との「福祉避難所の設置運営に関する協定」及び「福祉避難所への災害福祉支援員の派遣に関する協定」の更新
  - 栃木県災害福祉支援チーム（DWAT）への登録
  - 施設及び備品の貸出事業の継続

(2) 事業実績

ア 生活支援施設

障害者支援施設（定員 生活介護 53名 施設入所支援 50名）

年度別 区分	令和3年度				令和4年度			
	年間延べ利用者数(人)	開所日数(日)	平均(人/日)	稼働率(%)	年間延べ利用者数(人)	開所日数(日)	平均(人/日)	稼働率(%)
生活介護	13,780	313	44.1	83.1	12,791	313	40.9	77.1
施設入所支援	17,663	365	48.4	96.8	16,560	365	45.4	90.7

イ 就労支援施設

障害者支援施設（定員 生活介護 45名 就労継続支援B型 20名 施設入所支援 50名）

年度別 区分	令和3年度				令和4年度			
	年間延べ利用者数(人)	開所日数(日)	平均(人/日)	稼働率(%)	年間延べ利用者数(人)	開所日数(日)	平均(人/日)	稼働率(%)
生活介護	9,603	261	36.8	81.8	9,502	261	36.5	80.9
就労継続B型	5,544	261	21.3	106.3	5,001	261	19.2	95.8
施設入所支援	15,245	365	41.8	83.6	15,235	365	41.8	83.5

ウ 年度末の入所利用者の状況（令和5年3月31日現在） (人)

区分	施設別	生活支援施設	就労支援施設
10歳未満			
10代			
20代		1	
30代		5	
40代		5	6
50代		9	11
60代以上		26	25
合計		46	42
平均年齢（歳）		60.3	63.2
平均障害支援区分		5.7	4.5

エ 短期入所（定員 生活支援施設 5名 就労支援施設 2名） (人)

区分	年度別	令和3年度		令和4年度	
		生活支援施設	就労支援施設	生活支援施設	就労支援施設
年間延利用者数		282	30	315	116
実人数		8	3	6	6

オ 日中一時支援事業（定員 生活支援施設 5名 就労支援施設 2名） (人)

区分	年度別	令和3年度		令和4年度	
		生活支援施設	就労支援施設	生活支援施設	就労支援施設
年間延利用者数		164	4	154	6
実人数		3	2	3	1

カ 就労支援事業

(ア) 作業内容

種別	内容
受託加工	機械部品組み立て、線香箱詰め、自動車部品のバリ取り
自主製品製造販売	草木染、小物の製造及びイベント等における販売
リサイクル	段ボール、古紙のリサイクル
クリーニング	施設内利用者の衣服のクリーニング、施設内の清掃

## (イ) 利用者工賃（1人当たり平均工賃月額）

(円)

年度別 区分	令和3年度		令和4年度	
	生活介護	就労継続支援B型	生活介護	就労継続支援B型
1人当たり平均工賃月額	7,867.4	18,006.0	6,226.9	16,377.6
目標工賃月額		18,000		18,200

## キ 実施行事

時期	生活支援施設	就労支援施設	共通
4月	○花見会	○お茶会	
5月		○お茶会 ○ドライブスルー外出	○食事会（さくら会）
6月	○あじさい祭り	○お茶会 ○園芸活動	
7月	○七夕祭り ○ポッチャ大会	○お茶会	
8月	○夏祭り（キッチンカー来園）	○ミニ納涼祭	
9月	○月見会	○お茶会	
10月	○ハロウィン	○お茶会 ○ミニミニ運動会 ○園芸活動	○食事会（さくら会）
11月	○運動会	○ドライブスルー外出 ○園芸活動	
12月		○食事会（自治会） ○クリスマス会	
1月		○お茶会	
2月	○節分 ○快気祝い(50)	○お茶会	○食事会（さくら会）
3月	○ひなまつり(43)	○お茶会	○食事会（さくら会）
定例	○お茶会 ○カラオケクラブ 園芸クラブ		

## ク 実習等の受入れ

- (ア) 介護実習 1名
- (イ) 施設体験実習 6名
- (ウ) 地域活動実習 0名
- (エ) 施設見学 4名

## 5 宝木保育園

### (1) 事業執行概要

保育所保育指針及び宝木保育園の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を考慮した保育サービスの提供を図るとともに、地域に開かれた施設として、子育て相談や親子の交流の場の提供及び実習生の受入れ等を実施した。

給食等に使用した食器等を衛生的に保管していくため、経年劣化を考慮し、食器消毒保管庫の更新を行った。

新型コロナウイルス感染予防対策については、体温測定による健康面の管理、玩具等の消毒や保育室の換気による衛生面の管理の徹底及び給食時の飛沫防止パーテーションの使用などにより、保育環境の改善に取り組んだ。職員及び園児、保護者に感染が確認された際は、発生の都度、関係機関と連携を図りながら、保護者宛てに迅速に情報提供するとともに、職員への抗原検査キットによるスクリーニング検査を実施した。なお、感染・濃厚接触者に該当した園児についても、自宅待機期間終了時に抗原検査キットを用いた検査を実施し、陰性を確認した上で登園していただくよう保護者に協力いただいた。登園等、園内における感染対策を一層強化したことで感染拡大を防ぐことができた。

#### 【新型コロナウイルス感染症の発生状況等】

○ 新型コロナウイルス感染者及び濃厚接触者、休園（部分休園含む）数 (延べ数)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	職員	計
感染者	11名	6名	14名	7名	11名	14名	18名	81名
濃厚接触者	5名	4名	5名	10名	11名	3名	8名	46名
計	16名	10名	19名	17名	22名	17名	26名	127名
休園日数	13日	13日	23日	7日	9日	8日	実休園日数 40日	

#### (主な実施事業)

##### ① 質の高いサービスの提供

- 保育理念・保育士倫理綱領の周知徹底
- 家庭保育に対する理解と関心を深める機会としての保育体験の実施
- リトミック、体操、英語、サッカーの各教室の実施
- 野菜作りや講座を通じた食育の実施
- 安全な食事提供を目的とした日々の食材管理や放射性物質検査の実施
- ゆるやかな担当制の導入による、子どもの主体性を育む保育の実施
- ドキュメンテーションの活用による保育内容公開の実施

② 自主自立経営の確立

- 多様な保育ニーズに対応した延長保育、休日保育及び一時保育の実施
- 乳幼児の積極的な受入

③ 地域社会への貢献

- 一時的に保育を必要とする保護者に対する支援としての一時保育の受入
- 県立聾学校幼稚部との交流（作品展示）や、小学校との交流（学校生活を紹介する絵の贈呈）
- 地域子育て支援拠点事業（子育てサロン宝木）の実施

(2) 事業実績

ア 保育所 利用定員 160 名

年度別 区分	令和3年度			令和4年度		
	合計(人)	平均(人/月)	稼働率(%)	合計(人)	平均(人/月)	稼働率(%)
0歳児	186	15.5		197	16.4	
1歳児	360	30.0		359	29.9	
2歳児	359	29.9		356	29.7	
3歳児	360	30.0		360	30.0	
4歳児	360	30.0		360	30.0	
5歳児	372	31.0		360	30.0	
合計	1,997	166.4	104.0	1,992	166.0	103.8

イ 入退所及び年度末の利用者の状況

(人)

年度別 区分	令和3年度			令和4年度		
	入所者数	退所者数	3月31日現在 利用児数	入所者数	退所者数	3月31日現在 利用児数
0歳児	18	0	19	19	1(1)	21
1歳児	12	0	30	14	1	30
2歳児	1	0	30	0	1	29
3歳児	3	2(1)	31	0	0	30
4歳児	0	0	30	0	0	30
5歳児	0	31(31)	31	0	30(30)	30
合計	34	33(32)	171	33	33(31)	170

注) ( ) 内は、3月31日付け退所者の再掲

ウ 休日保育

区分	令和3年度	令和4年度
年間延利用児数（人）	524	475
実人数（人）	27	25
開所日数（日）	71	67

エ 延長保育

区分	令和3年度	令和4年度
年間延利用児数（人）	1,880	1,747
実人数（人）	70	74
開所日数（日）	229	222

オ 一時保育

区分	令和3年度	令和4年度
年間延利用児数（人）	17	1
実人数（人）	6	1
開所日数（日）	242	203

カ 地域子育て支援拠点事業

区分	令和3年度	令和4年度
年間延利用者数（人）	2,187	3,265
開所日数（日）	134	188

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和4年8月1日、11月8日休止

※令和2年5月20日から予約制とし、利用人数を制限し実施

キ 実施行事

時期	内 容	
4月	○入園式	○進級式
5月	○こどもの日のお祝い	○親子遠足（3、4歳児）
6月	○保護者体験保育（1月まで）	○聾学校との交流（5歳児）
7月	○プール開き	○七夕夏まつり
8月	○宇都宮百年花火（5歳児花火の絵出展）	
9月	○ブレックスチアダンス体験（4、5歳児）	○乳児運動会（0、1歳児）
10月	○運動会（2、3、4、5歳児） ○修園旅行（5歳児）	○食育遠足（3、4、5歳児） ○下野教育美術展出展（5歳児）
11月	○観劇会（人形劇） ○防犯教室まもる号（3、4、5歳児）	○マラソン大会（3、4、5歳児）
12月	○クリスマス発表会	○観劇会（人形劇）
1月	○お正月あそび（3、4、5歳児） ○卒園記念製作陶芸教室（5歳児）	○遠足（5歳児）
2月	○節分 ○新入園児説明会及び面接	○保護者との個人面談
3月	○人間びな撮影 ○ひなまつり ○卒園式	○新入園児説明会及び面接 ○はなぐみお別れ会（5歳児） ○交通安全教室（3、4、5歳児）
定例	○誕生会（月1回） ○英語教室（年9回） ○サッカー教室（年4回） ○保健（保健日より年3回発行）	○リトミック教室（年9回） ○体操教室（4・5歳児年5回、2・3歳児年10回） ○食育（食育講座・食育日より年2回発行）

※新型コロナウイルス感染症対策のため、行事を一部中止または規模を縮小して実施した。

ク 実習等の受入れ

- (ア) 保育実習（学生） 12名（作新学院大学女子短期大学部、佐野日本大学短期大学、育英短期大学、独立行政法人国立病院機構栃木医療センター看護学校）
- (イ) シルバー大学校中央校ボランティア実習 21名
- (ウ) わくわく保育園体験受入 0歳児4名 1歳児4名

### Ⅲ 生きがい健康部所管事業

#### 1 事業執行概要

##### (1) 生きがいづくり課

指定管理事業であるシルバー大学校の運営、及び高齢者生きがいづくり支援事業として、高齢者の自主的かつ積極的な生きがいづくりの支援、豊かで生きがいに満ちた高齢社会を形成するため、「はつらつプラン 21（八期計画）」や「とちぎ健康 21 プラン（2 期計画）」に沿った生きがいづくり事業を実施した。

また、とちぎ生きがいづくりセンター県南支所・県北支所の施設管理について、県民誰もが安全・安心かつ快適に利用できる公の施設として、敷地内緑地や施設・設備の適正な維持管理に努めた。

事業運営において、シルバー大学校では、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に引き続き留意しながら学校運営に努めた。

本年度は、学校運営の質の向上を目指し、学生に対し、従来の授業に関するアンケートに加え、新入生に対し学校運営に関するアンケートを新たに実施するとともに、シルバー大学校の魅力をわかりやすく伝えるために、シルバー大学校の入学案内の見直しを行った。

全国健康福祉祭の予選会であるねんりんピックとちぎ 2022 を開催するとともに、3 年振りに神奈川県で開催された第 34 全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会に、140 名余の栃木県選手団を派遣した。

#### (主な実施事業)

##### ① 質の高いサービスの提供

##### ○ シルバー大学校の運営

- ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上での学校活動の実施
- ・学生全員に対するオンライン体験授業の実施
- ・新入生に対する学校運営に関するアンケートの新規実施
- ・シルバー大学校入学案内の内容見直し

##### ○ ねんりんピックとちぎ 2022 の開催

- ・スポーツ・文化交流大会（17 種目 参加者 1,974 名）
- ・シルバー作品展（6 部門 出展数 166 点）

＊新型コロナウイルス感染症による影響等

スポーツ・文化交流大会 19 種目中 2 種目を中止

##### ○ 第 34 回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会への選手団派遣

- ・派遣選手団（21 種目 146 名）
- ・美術展（出展数 12 点）

- 介護支援専門員実務研修受講試験の実施
  - ・令和4年10月9日実施
- 介護支援専門員の各種法定研修の実施
  - ・令和4年6月から令和5年3月まで実施
  - ・オンライン研修と集合研修の同時開催のハイブリッド形式による研修の実施
- ② 自主自立経営の確立
  - シルバー大進学校入学生増に向けた取り組み
    - ・入学案内の内容見直しによるシルバー大進学校の魅力の発信強化
  - 賛助会員の増加への取組
    - ・イベント「とちぎ健康の森フェス 2022」における展示ブースの提供
- ③ 地域社会への貢献
  - 情報誌「いきいきとちぎ」の発行による高齢者の生きがいと健康づくりに関する情報提供（発行回数 年4回、市町・関係機関、公民館・病院、薬局等へ無料配布）
  - シルバー大進学校卒業生や地域の人を対象に、世代間交流や放課後学習支援を目的とした地域活動を行うための備品の無料貸出

## (2) 健康づくり課

生活習慣の改善による生活習慣病の予防とその他県民の自主的な健康づくりを総合的に支援するため、「運動・栄養・休養」の視点から様々な健康づくり事業を行った。

特に、「とちぎ健康 21 プラン（2期計画）」や「健康長寿とちぎづくり推進条例」に基づき設置された「健康長寿とちぎづくり推進県民会議」の一員として、関係機関・団体との連携協働により事業を実施した。

また、県民誰もが安全・安心かつ快適に利用できる公の施設として、「とちぎ健康の森」の敷地内緑地の適正管理や施設・設備の維持管理に努めるとともに、とちぎ健康づくりセンター及びとちぎ生きがいづくりセンターの広報活動や施設の利用・貸出に係る個人情報保護に配慮した。

事業運営においては、新型コロナウイルス感染症により減少した利用者の回復のため、LINE の公式アカウントなどからの広報、情報提供を強化するとともに施設利用講習、各種講座のインターネット予約など、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら「おもてなしの心」をもって利用者へのサービス向上に努めた。その一方で、とちぎ健康の森に新型コロナウイルスワクチン接種会場が設置されたことで貸出施設の貸出が制限されるなど、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けた。

### 【新型コロナウイルスワクチン接種会場設置状況等】

#### ○ 3回目接種

設置期間 令和4年1月4日～令和5年3月31日

設置場所 運動フロア、小会議室（貸出時間制限）※その他施設の貸出制限なし

(主な実施事業)

① 質の高いサービスの提供

- 新型コロナウイルス感染対策を徹底した施設利用講習、健康づくり講座、集団指導、体力測定等の実施（利用人員制限・講座等のインターネット予約の運用）
- 地域や団体等に出向いた講座や研修会の実施
  - ・企業、団体等と連携した出張講座
  - ・市町職員等の健康づくり活動を支援する研修会の実施
  - ・県南、県北支所を活用した講座等の実施（ストップ！ロコモ予防講座）
- 利用者の状況や目的に応じた専門職種によるチーム体制での支援
- 新型コロナウイルス感染症対策における健康づくりに関する相談や情報提供、普及啓発
  - ・情報提供コーナーを設置し、月別テーマの掲示・ホームページ掲載
  - ・ホームページの活用（自宅で健康づくり・とちぎ健康の森だより）
- 建物・設備の定期点検、保安警備及び敷地内緑地管理等の維持管理の実施
  - ・施設の大規模改修工事（県予算）に伴う県・関係機関との連絡調整及び対応
    - 講堂特定天井落下防止対策事業（工期：令和3年11月～令和4年7月）
    - 外灯省エネルギー加速化事業（工期：令和4年10月～令和5年3月）
- 感染症対策に特化し、高齢者に優しく、省エネ加速化へのライト・人感センサー設置
- 災害・事故等の危機管理対策としての防災訓練（日中・夜間）の実施
- 利用規定の掲示やパンフレットでの周知による公平な施設の利用の確保
- ホームページへの施設の予約状況の掲載による利用者の利便性の向上
- サービス向上委員会の開催による利用者アンケートの分析等、利用者ニーズの把握
- 利用者ニーズや利便性を考慮した施設運営の実施
  - ・プール及びトレーニング室におけるリアルタイムの混雑状況をホームページ、LINEに掲載開始
  - ・LINE公式アカウントの運用
  - ・施設利用講習、各種講座のインターネット予約の開始
  - ・施設利用カード更新の案内周知
  - ・プリペイドカード特典の継続
  - ・企業等への利用チケット制の実施及び提案
  - ・利用料コンビニ・スマホ収納サービスの実施
  - ・プール、トレーニング室の利用キャンペーンの実施及びオリジナルグッズの有償頒布
- とちぎ健康づくりセンター主催イベントの実施
  - ・とちぎ健康の森フェス 2022 の実施

② 自主自立経営の確立

- アンケート等による利用者ニーズの把握やニーズに沿った運動・栄養・休養の各種事業の実施による利用者の確保
  - ・施設利用者の運動目的、達成度の調査、検証による利用者の確保
- 継続利用に向けた仕組みづくり（運動メニューの作成や集団指導、簡易測定）
- 電力・ガスのデマンド監視による最大需要量の抑制、省資源・省エネルギーの取組

③ 地域社会への貢献

- 電話や来訪による随時の健康相談の実施
- 地域の学校からの職場体験の受入
- 災害時に対応した自衛消防組織及び県や関係機関との連絡・協力体制の整備
- 県内看護大学の実習の受入

(3) 生きがい就労課

高齢者が長年培った豊かな経験と知識・技能を生かし、働くことを通して地域社会の活性化に貢献し、健康で生きがいをもった高齢期を送ることができるよう、公益財団法人栃木県シルバー人材センター連合会が、高齢者の希望に応じた就業機会を確保し、安全で適正な就業を提供するため実施した次の事業について支援を行った。

ア シルバー人材センター事業

栃木県内のシルバー人材センター事業の普及啓発、運営の相談、指導及び助言を行うとともに、県内センターの会員確保及びシルバー事業の拡充を支援した。

イ 高齢者活躍人材確保育成事業

シルバー人材センターでの就業を希望する高齢者を対象に、様々な技能講習を実施し、就業機会の拡大を図った。

2 事業実績

(1) とちぎ健康づくりセンター

ア 施設貸出

(時間)

区分	項目	年間利用時間		月平均利用時間	
		令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度
大会議室		1,032	1,362	86.0	113.5
小会議室		752	413	62.7	34.4
多目的フロア	A全面	1,054	1,016	59.9	55.3
	A2/3面	0	3	0	0.3
	A1/2面	59	51	1.9	3.6
	A1/3面	0	0	0	0
	B	506	488	16.3	13.3
	C	636	663	26.6	24.4
	計	2,255	2,221	104.7	96.7
エアロビクススタジオ		319	1,073	26.6	89.4
運動フロア	全面	60	0	5.0	0
	1/2面	70	0	5.8	0
	1/3面	94	0	7.8	0
	1/6面	13	0	1.1	0
	計	237	0	19.7	0
合計		4,595	5,069	299.7	334.3

※ 新型コロナウイルスワクチン接種会場設置による利用休止等

(1・2回目接種) 設置期間：令和3年6月12日～令和3年12月3日

設置場所：運動フロア、エアロビクススタジオ その他施設は新規予約 停止

(3回目接種) 設置期間：令和4年1月4日～令和5年3月31日

設置場所：運動フロア、小会議室（平日17時まで） その他施設の貸出制限なし

イ 施設利用者

(人)

区分	項目	年間利用者数		月平均利用者数	
		令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度
施設利用講習	大人	723	1,452	60.2	121.0
	小人	92	191	7.7	15.9
	計	815	1,643	67.9	136.9
施設利用カード更新	更新者数	1,039	1,428	86.6	119.0
	面接者数(再掲)	434	661	36.2	55.1
体力測定		125	159	10.4	13.3
温水プール トレーニングルーム ランニングデッキ リラクゼーションルーム		25,190	47,770	2,099.2	3,980.8
合計		27,169	51,000	2,264.1	4,250.0

※ 特定天井落下防止対策事業・県有施設省エネ加速化事業によるプール利用休止（令和2年10月1日～令和3年6月30日）

新型コロナウイルス感染症対策によるトレーニング室・プールの利用休止（令和3年7月30日～9月30日）

ウ 健康づくり事業

(上段：人、下段：回)

区分		項目	年間利用者数		月平均利用者数	
			令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度
施設利用講習	受講者数	815	1,643	67.9	136.9	
	実施回数	137	182	11.4	15.2	
体力測定	受検者数	125	159	10.4	13.3	
	実施回数	112	135	9.3	11.3	
簡易測定	受検者数	5	9	0.4	0.8	
	実施回数	6	17	0.5	1.4	
健康づくり講座	受講者数	1,336	969	111.3	80.8	
	実施回数	13種 55	12種 84	4.6	7	
集団指導	受講者数	3,968	9,299	330.7	774.9	
	実施回数	20種 284	22種 584	23.7	48.7	
計	受講者数等	6,249	12,079	520.7	1006.6	
	実施回数	594	1,002	49.5	83.6	

※ 新型コロナウイルスワクチン接種会場設置による利用休止等

(1・2回目接種) 設置期間：令和3年6月12日～令和3年12月3日 健康づくり講座及び集団指導の中止

(令和3年11月24日まで)

(3回目接種) 設置期間：令和4年1月4日～令和5年3月31日 健康づくり講座及び集団指導の人数を一部制限

(2) とちぎ生きがিづくりセンター

ア 施設貸出

(時間)

区分		項目	年間利用時間		月平均利用時間	
			令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度
中央支所	講堂	333	318	27.7	26.5	
	演習室A	187	213	15.6	17.8	
	演習室B	169	245	14.1	20.4	
	多目的ホール	253	336	21.1	28.0	
	教室A	179	249	14.9	20.8	
	教室B	68	203	5.7	16.9	
	教室C	131	268	10.9	22.3	
	教室D	9	97	0.8	8.1	
	教室E	4	9	0.3	0.8	
	教室F	448	512	37.3	42.7	
	和室	30	70	2.5	5.8	
	テニスコート	1,643	3,196	136.9	266.3	
	計	3,454	5,716	287.8	476.3	

※ 新型コロナウイルスワクチン接種会場設置による利用休止等

(1・2回目接種) 設置期間：令和3年6月12日～令和3年12月3日 会場使用：教室E その他施設は新規予約停止

(3回目接種) 設置期間：令和4年1月4日～令和5年3月31日 会場使用：教室E その他施設の貸出制限なし

特定天井落下防止対策事業による講堂使用休止 (令和3年11月1日～令和4年7月31日)

区分		項目	年間利用時間		月平均利用時間	
			令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度
県南支所	教室A	124	168	10.3	14.0	
	教室B	66	0	5.5	0	
	教室C	148	235	12.3	19.6	
	教室D	119	104	9.9	8.7	
	教室E					
	教室F	171	203	14.3	16.9	
	演習室					
	和室	207	282	17.3	23.5	
	屋外運動場					
	講堂兼体育館	2	0	0.2	0	
	計	837	992	69.8	82.7	
県北支所	教室A	14	207	1.2	17.3	
	教室B	76	112	6.3	9.3	
	教室C	122	124	10.2	10.3	
	教室D	151	161	12.6	13.4	
	教室E	84	116	7.0	9.7	
	教室F	114	110	9.5	9.2	
	演習室	12	89	1.0	7.4	
	和室		38		3.2	
	多目的ホール	81	70	6.7	5.8	
	計	654	1,027	54.5	85.6	
	合計		4,945	7,735	412.1	644.6

イ 栃木県シルバー大学校学生数（令和5年3月31日現在）

（人）

学校名（期別定員）	期別 性別	42期生			43期生			合計		
		男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
中央校(320)		95	99	194	94	121	215	189	220	409
南校(120)		46	47	93	51	59	110	97	106	203
北校(120)		36	27	63	29	35	64	65	62	127
合計(560)		177	173	350	174	215	389	351	388	739

## (3) ねんりんピックとちぎ及び全国健康福祉祭

事業名	実施日	実施会場	実施内容
ねんりんピックとちぎ 2022 スポーツ・文化交流大会	令和 4 年 4 月 17 日 ～令和 4 年 6 月 5 日	栃木県 各市町	19 種目中 17 種目実施 (1 種目中止、1 種目未実施)
ねんりんピックとちぎ 2022 シルバー作品展	令和 4 年 6 月 1 日 ～令和 4 年 6 月 5 日	とちぎ健康の森	シルバー作品展審査会 (令和 4 年 5 月 31 日 6 部門)
第 34 回全国健康福祉祭神奈川・ 横浜・川崎・相模原大会	令和 4 年 11 月 12 日 ～令和 4 年 11 月 15 日	神奈川県内 26 市町村	スポーツ交流大会 10 種目 ふれあいスポーツ交流大会 8 種目 文化交流大会 3 種目 計 21 種目

## (4) 介護支援専門員実務研修受講試験

区分	令和 3 年度	令和 4 年度
実施日	令和 3 年 10 月 10 日	令和 4 年 10 月 9 日
申込者数 (人)	785	810
受験者数 (人)	706	723
合格者数 (人)	166	122
合格率 (%)	23.5	16.9

## (5) 介護支援専門員研修

年度別 研修名(法定)	令和 3 年度		令和 4 年度		備考
	実施月	受講者等(人)	実施月	受講者等(人)	
介護支援専門員 実務研修	令和 3 年 12 月 ～令和 4 年 3 月	受講者数 163 修了者数 158	令和 4 年 12 月 ～令和 5 年 3 月	受講者数 121 修了者数 119	介護支援専門員実務研修受講 試験合格者に対する研修
介護支援専門員 専門研修 (専門研修課程Ⅰ)	令和 3 年 6～8 月	受講者数 61 修了者数 52	令和 4 年 6～8 月	受講者数 66 修了者数 64	就業後 6 ヶ月以上の者を対象 とし、必要に応じた専門知識、 技能の修得を図る研修
介護支援専門員 専門研修 (専門研修課程Ⅱ)	令和 3 年 7～10 月	受講者数 82 修了者数 79	令和 4 年 8～11 月	受講者数 103 修了者数 101	就業後 3 年以上の者を対象と し、必要に応じた専門知識、技 能の修得を図る研修
主任介護支援専門員 研修	令和 3 年 12 月 ～令和 4 年 3 月	受講者数 82 修了者数 81	令和 4 年 12 月 ～令和 5 年 3 月	受講者数 75 修了者数 74	ケアマネジメントが適切かつ 円滑に提供されるために必要 な業務に関する知識及び技能 を修得する研修

年度別 研修名(法定)	令和3年度		令和4年度		備考
	実施月	受講者等(人)	実施月	受講者等(人)	
介護支援専門員更新 研修 (実務未経験者)	令和3年12月 ～令和4年3月	受講者数 65 修了者数 58	令和4年12月 ～令和5年3月	受講者数 81 修了者数 69	更新時に定期的な研修受講機会を確保し、専門職として能力の保持・向上を図る研修
介護支援専門員更新 研修 (実務経験者)	令和3年 6～10月	受講者数 221 修了者数 208	令和4年 6～11月	受講者数 331 修了者数 324	
介護支援員専門員 再研修	令和3年12月 ～令和4年3月	受講者数 93 修了者数 96	令和4年12月 ～令和5年3月	受講者数 99 修了者数 105	介護支援専門員として必要な知識、技能の再修得を図る研修
主任介護支援専門員 更新研修	令和3年5～6月 (令和2年度 延期分)	受講者数 135 修了者数 130	令和4年 9～11月	受講者数 153 修了者数 150	更新時に定期的な研修受講機会を確保し、主任介護支援専門員の役割を果たすために必要な能力の保持・向上を図る研修
	令和3年 9～12月	受講者数 154 修了者数 152			
合計		受講者数 921 修了者数 884		受講者数 1,029 修了者数 1,006	令和2年度延期分の受講者数は、令和2年度の実績に含む

注) ・新型コロナウイルス感染症対策により、オンライン研修を導入

・更新研修(実務未経験者)及び再研修について、研修修了日の取扱いにより一部修了区分を変更している。

## IV 評議員会・理事会の開催状況

### 1 評議員会

回数	開催年月日	区分	内容
第72回	令和4年 4月1日	決議の省略	役員の選任について
第73回	令和4年 6月27日	議事	第1号 社会福祉法人とちぎ健康福祉協会定款の変更について 第2号 令和3年度とちぎ健康福祉協会決算について
		報告	第1号 令和3年度とちぎ健康福祉協会事業報告について 第2号 桜ふれあいの郷再出発計画について
第74回	令和5年 3月28日	報告	第1号 とちぎ健康福祉協会基本計画（四期計画）の策定について 第2号 令和5年度とちぎ健康福祉協会事業計画について 第3号 令和5年度とちぎ健康福祉協会資金収支予算について 第4号 桜ふれあいの郷再出発計画について 第5号 障害福祉サービス事業所に勤務する職員への慰労金の支給について

### 2 理事会

回数	開催年月日	区分	内容
第104回	令和4年 4月1日	決議の省略	常務理事の選定について
第105回	令和4年 6月10日	議事	第1号 令和3年度とちぎ健康福祉協会事業報告について 第2号 令和3年度とちぎ健康福祉協会決算について 第3号 令和4年度とちぎ健康福祉協会資金収支補正予算について 第4号 社会福祉法人とちぎ健康福祉協会定款の変更について 第5号 第73回とちぎ健康福祉協会評議員会の開催について
		報告	第1号 予備費の使用について 第2号 理事長及び常務理事の職務執行状況について 第3号 桜ふれあいの郷再出発計画について
第106回	令和4年 12月20日	議事	第1号 とちぎ健康福祉協会基本計画（四期計画）の策定について 第2号 令和4年度とちぎ健康福祉協会資金収支補正予算について
		報告	第1号 予備費の使用について 第2号 理事長及び常務理事の職務執行状況について

第107回	令和5年 3月17日	議事	<p>第1号 とちぎ健康福祉協会職員の給与等の支給に関する規程の一部改正について</p> <p>第2号 とちぎ健康福祉協会嘱託職員就業規程の一部改正について</p> <p>第3号 とちぎ健康福祉協会経理規程の一部改正について</p> <p>第4号 とちぎ健康福祉協会職員就業規程の一部改正について</p> <p>第5号 令和5年度とちぎ健康福祉協会事業計画について</p> <p>第6号 令和5年度とちぎ健康福祉協会資金収支予算について</p> <p>第7号 令和4年度とちぎ健康福祉協会資金収支補正予算について</p> <p>第8号 役員候補者の選任について</p> <p>第9号 評議員候補者の選任について</p> <p>第10号 とちぎ健康福祉協会評議員選任・解任委員会の開催について</p> <p>第11号 第74回とちぎ健康福祉協会評議員会の開催について</p> <p>第12号 第75回とちぎ健康福祉協会評議員会の開催について</p>
		報告	<p>第1号 予備費の使用について</p> <p>第2号 とちぎ健康福祉協会基本計画（三期計画）の検証結果について</p> <p>第3号 桜ふれあいの郷障がい者支援センターふれあいの建替整備に係る適地の選定について</p> <p>第4号 桜ふれあいの郷再出発計画について</p>